

ナホム書

Nahum

旧約聖書

第1章

- 1 ニネベについての宣告。エルコシュ人ナホムの幻の記録。
- 2 主はねたんで復讐する神。主は復讐し、憤る方。主はご自分に逆らう者に復讐し、敵に対して怒る方。
- 3 主は怒るのに遅く、力強い方。決して罰せずにおかれることはない。主は、その道がつむじ風と嵐の中にあり、雲は、御足がかき立てるほこりである。
- 4 主は海を叱って干上がらせ、すべての川を涸らされる。バシャンとカルメルはしおれ、レバノンの花もしおれる。
- 5 山々は主の前に揺れ動き、もろもろの丘は溶け去る。地は御前でくつがえる。世界とその中に住むすべてのものも。
- 6 主の激しい憤りの前に、だれが立てるだろうか。だれが、その燃える怒りに耐えられるだろうか。主の憤りは火のように注がれ、岩々は御前に打ち砕かれる。
- 7 主はいつくしみ深く、苦難の日の砦。ご自分に身を避ける者を知ってくださる。
- 8 しかし、押し流す大水で その場所を滅ぼし尽くし、敵どもを闇に追いやられる。
- 9 おまえたちは主に対して何を企むのか。主は滅ぼし尽くす方。敵対する者は二度と立ち上がれない。
- 10 彼らは、絡みついた茨。大酒飲みの酔っぱらいのようだ。乾ききった刈り株のように焼き尽くされる。
- 11 おまえたちの中から、主に対して悪を謀り、よこしまなことを企てる者が出た。
- 12 主はこう言われる。「彼らが壮健で、数が多くても、それでも、刈り取られて去って行く。わたしはあなたを苦しめたが、もう苦しめない。
- 13 今、わたしは彼のくびきを砕いてあなたから外し、あなたのかせを打ち砕く。」
- 14 主はおまえについて命じられる。「もはや子が宿ることなく、おまえの名は絶える。おまえの神々の宮から、わたしは彫像や鑄像を断ち切る。わたしはおまえの墓を造る。おまえが取るに足りない者となったからだ。」
- 15 見よ。良い知らせを伝える人の足が、平和を告げ知らせる人の足が山々の上にある。ユダよ、あなたの祭りを祝い、あなたの誓願を果たせ。よこしまな者たちは、もう二度とあなたの間を通り過ぎることがない。彼らはみな、絶ち滅ぼされた。

第2章

- 1 追い散らす者が、おまえに向かって上って来る。壘を見守り、道を見張れ。腰を強くし、大いに力を奮い立たせよ。
- 2 主がヤコブの威光を、イスラエルの威光のように回復されるからだ。まことに、荒らす者が彼らを荒らし、彼らのぶどうの枝を損なう。
- 3 勇士の盾は赤く染まり、兵士は緋色に包まれる。戦車は、それが整えられる日、鋼の火を通され、槍は振り回される。
- 4 戦車は通りを走り狂い、広場を駆け巡る。その有様はたいまつのように、稲妻のように走る。

- 5 高貴な人は呼び出されるが、途中でつまずき倒れる。人々は町の城壁へ急ぐが、そこに外から柵が設けられる。
- 6 いくつもの川の水門が開かれ、宮殿は消え去る。
- 7 王妃は捕らえられ、連れ去られる。女奴隷たちは鳩のような声でつぶやき、胸をたたいて悲しむ。
- 8 ニネベは、水が流れ出る池のようだ。「止まれ、止まれ」と言っても、向きを変える者はいない。
- 9 銀を奪え。金も奪え。その財宝には限りがない。あらゆる尊い品々があふれている。
- 10 不毛、空虚、そして荒廃。心は萎え、膝は震える。どの腰もわななき、どの顔も青ざめる。
- 11 獅子の住みかはどこか。若い獅子にとっての餌場は。雄獅子と雌獅子が出歩くときに、子獅子がだれにも脅かされない住みかは。
- 12 獅子は、十分な獲物を子獅子のために引き裂き、雌獅子のためにかみ殺し、獲物でその穴を、かみ裂かれた物でその巣を満たす。
- 13 「見よ、わたしはおまえを敵とする。一万軍の主のことば— おまえの戦車を燃やして煙にし、若い獅子を剣が食い尽くす。おまえの獲物を地から絶やし、おまえの使者たちの声はもう聞かれない。」

第3章

- 1 わざわいだ、流血の町。すべては偽りで略奪に満ち、強奪はやまない。
- 2 むちの音。車輪の響き。駆ける馬。飛び跳ねる戦車。
- 3 突進する騎兵。剣のきらめき。槍のひらめき。おびただしい戦死者。山なす屍。数えきれない死体。死体に人はつまずく。
- 4 これは、遊女の淫行の数々に、呪術を行う女の麗しさによるものだ。彼女はその淫行によって国々を、その呪術によって諸部族を売り渡した。
- 5 「見よ、わたしはおまえを敵とする。一万軍の主のことば— わたしはおまえの裾を顔の上までまくり上げ、諸国の民におまえの裸を見せる。諸国の王におまえの恥を。
- 6 おまえの上に忌まわしいものを投げかけ、おまえを愚弄し、おまえを見せ物にする。
- 7 おまえを見る者はみな、おまえから逃げて言う。『ニネベは荒れ果てた。だれが彼女のために嘆くのか。』わたしはどこからおまえを慰める者を探して来られようか。
- 8 おまえはテーベよりもすぐれているのか。それはナイル川のほとりにあり、水がそれを取り囲んでいる。その壘壁は海、海がその城壁。
- 9 クシュとエジプトはその力。その力には限りがない。プテムルブ人もその助け手。
- 10 しかし、それもまた捕囚となり、捕らわれの身となって出て行く。その幼子たちはあらゆる街角で八つ裂きにされ、高貴な人たちはくじで分けられ、おもだった者たちはみな、鎖につながれる。
- 11 おまえもまた、酔いしれて意識を失う。おまえもまた、敵から逃げて砦を探し求める。
- 12 おまえのすべての要塞は、初なりの実をつけたいちじくの木のように。揺さぶると、食べる者の口に実が落ちる。

- 13 見よ、おまえの兵隊はおまえの中にいる女たち。敵に向かって おまえの国の門は広く開け放たれ、火がかんぬきを焼き尽くす。
- 14 包囲の日に備えて水を汲み、おまえの要塞を強固にせよ。泥の中に入り、粘土を踏みつけ、れんがの型を取れ。
- 15 その場所で、火はおまえを食い尽くす。剣はおまえを切り倒し、バツタのように火がおまえを食い尽くす。バツタのように数を増し、いなごのように増えよ。
- 16 おまえは商人を天の星より多くした。しかし、バツタがこれを襲って飛び去る。
- 17 おまえの廷臣たちは、いなごのよう、司令官たちは、群がるいなごのようだ。寒い日には城壁の上でたむろし、日が昇ると逃げ去って、どこへ行くか、行く先をだれも知らない。
- 18 アッシリアの王よ。おまえの牧者たちは眠り、高貴な者たちはじっととどまっている。おまえの民は山々の上に散らされ、集める者はだれもない。
- 19 おまえの傷は癒えることがなく、打ち傷は癒やしがたい。おまえのうわさを聞く者はみな、おまえのことで手をたたく。おまえの絶え間ない悪事が 及ばなかった者がいるだろうか。」